

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年30週 (7月4週 7/25~7/31)  
愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)  
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>  
E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)  
連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、ヘルパンギーナ、蚊媒介感染症に関する注意喚起、腸管出血性大腸菌感染症  
病原体検出情報  
定点医療機関コメント  
ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。  
結核(35)、腸管出血性大腸菌感染症(8)、チクングニア熱(1)、デング熱(3)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、急性脳炎(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(9)、風しん(1)  
定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 流行性角結膜炎(図1)

30週の定点当たり報告数は0.89で、比較的大きな流行が見られなくなった2007年以降では最も高い値となっています。29週29人 30週31人(1.07倍)です。

### 流行性耳下腺炎(図2)

30週の定点当たり報告数は0.74、29週151人 30週134人(0.89倍)です。

【参考ページ】<注目すべき感染症>流行性耳下腺炎(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)  
<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-23.pdf>

### ヘルパンギーナ

30週の定点当たり報告数は3.31、29週611人 30週602人(0.99倍)です。

【参考ページ】  
豊橋市:ヘルパンギーナが流行しています(7月11日発表)  
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/44545/H28herpangina1.pdf>  
疾患別ウイルス検出状況(速報)  
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

### 蚊媒介感染症に関する注意喚起について

【参考ページ】  
デング出血熱患者(輸入症例)死亡例の発生について(厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000131052.html>  
デング熱等の蚊媒介感染症に関する注意喚起について(厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Ke nkoukyoku/0000131097.pdf>  
ジカウイルス感染症に関する注意喚起について(厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Ke nkoukyoku/0000132245.pdf>  
注意すべき蚊による感染症  
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html>  
蚊が媒介する感染症について(愛知県)  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/mosquitoborneinfection.html>

### 腸管出血性大腸菌感染症(図3)

愛知県の2016年報告数(診断週別)は、8月3日現在63件(○157 48件、○26 11件、○103 2件、型不明2件)、うち溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は1件です。

2015年の同時期(1~30週)報告数は51件、年間報告総数は98件(うちHUS発症例2件)でした。

【参考ページ】腸管出血性大腸菌 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2\\_4](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4)

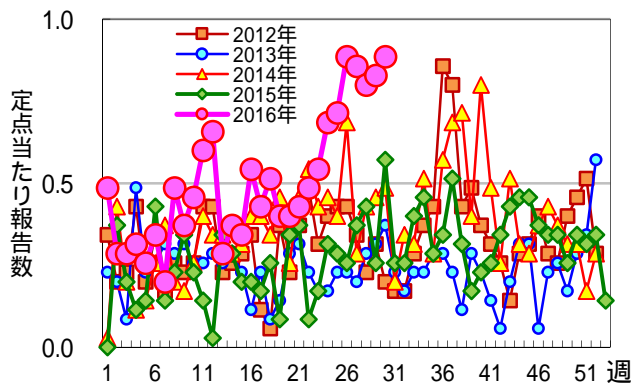


図1 流行性角結膜炎

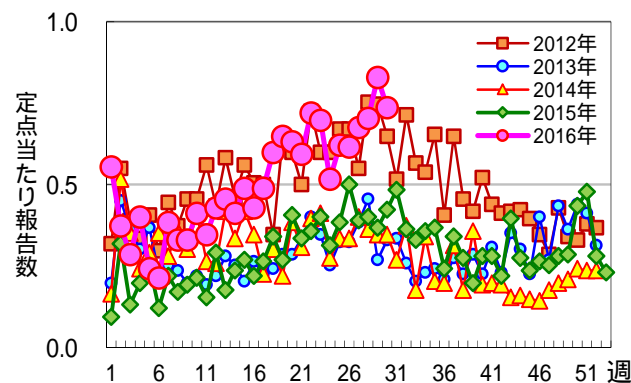


図2 流行性耳下腺炎

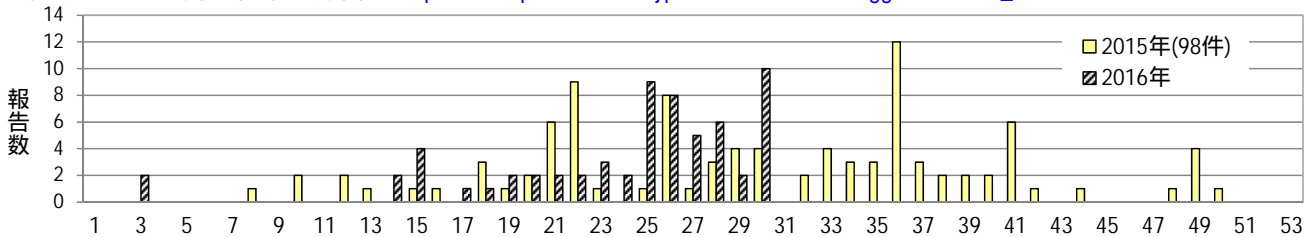


図3 週別腸管出血性大腸菌感染症報告数(2015年-2016年、2016年8月3日現在、診断週別)

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2016年8月1日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ	** 麻疹・風疹
患者数	192	15	37	16	12	23	10	318	3(9)
CV-A4	-	-	1	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-B3	3	-	1	-	-	2	1	1	-
CV-B5	1	-	-	-	-	1	-	-	-
E-6	-	-	-	-	-	1	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	1	93	(2)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	10	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	51	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	1	99	(1)
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	1(2)
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	23	-	-	-	-	-	1	-	-
Rota A G3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	4	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	5	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	92	-	-	-	-	2	3	-	-
AstV	12	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	-	-	3	-	1	-	1	-
Ad-3	4	-	-	4	-	-	-	-	-
Ad-4	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-19	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
検査中	25	13	31	8	1	12	-	5	0(0)
陰性	35	1	4	1	9	7	4	57	2(3)

\*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果

\*\*麻疹・風疹の( )内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

水痘に罹患した児の兄弟2名が水痘になりました。  
ワクチン接種可能な年齢でしたが、していません  
でした。

【犬山市 武内医院】

アデノウイルス感染症 10名

ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎流行続いで  
います。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ムンプス、ヘルパンギーナ大流行中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

ヘルパンギーナ 14件、手足口病 15件とほぼ  
同数で流行

【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】

14歳男 マイコプラズマ感染症

33歳女 マイコプラズマ感染症

ヘルパンギーナ多発して居ります。

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

ヘルパンギーナ流行続いています。

流行性耳下腺炎散見

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

アデノウイルス性結膜炎が散見される。一部  
に家族内発生を認める。

【長久手市 スズムラ眼科医院】

高熱の小児、大人もふくめ多かった。

【日進市 みやがわクリニック】

アデノは増えています。

ムンプスは多いままです。

ヘルパンギーナは散見されます。

【春日井市 春日井市民病院】

12歳女 カンピロバクター腸炎

溶連菌、ムンプス多数

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染性胃腸炎ではサルモネラ、下痢原性大腸菌、  
ノロウイルスなどが目立ちます。

また、ヒトメタニューモウイルス感染も目立ち  
ます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

病原大腸菌陽性 2名

O18(1名 6歳) O1(1名 1歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

8か月男 RSウイルス(+)

ヘルパンギーナが流行中です。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 6歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ核酸検出 5歳男 10歳男

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

4歳女 カンピロバクター感染症

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

マイコプラズマ肺炎

4歳男(2名) 5歳女

マイコプラズマ気管支炎

4歳女 9歳女 12歳女 14歳女

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

アデノ(+) 1歳男

【岡崎市 にいのみ小児科】

ヘルパンギーナが目立ち始めました。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

ヘルパンギーナ目立ちます。

伝染性紅斑散発

【碧南市 永井小児クリニック】

サルモネラO4 4歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

ヒトメタニューモウイルス 2名

【新城市 新城市民病院】

病原性大腸菌O15 2歳男

【豊川市 ささき小児科】

カンピロバクター 1名

ヒトメタニューモウイルス 2名

マイコプラズマ 3名

【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年8月3日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年30週報告数			2016年総計(1～30週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	12	3	4	415	104	107
豊田市				38	8	11
豊橋市	2		1	38	6	12
岡崎市	1	1		36	13	9
一宮	4	1	1	85	30	18
瀬戸	1	1		70	14	23
半田	4	1	2	35	8	15
春日井	3	1		70	13	20
豊川				23	6	6
津島	4		1	65	10	26
西尾				17	4	3
江南				26	5	2
新城				6	3	2
知多	1			48	12	16
清須	1			20	10	1
衣浦東部	2	1	1	65	9	13
合計	35	9	10	1,057	255	284

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	1歳	女	7/22	7/23	7/26	O157、VT2(+)
2	名古屋市	26歳	男	7/21	7/23	7/26	O157、VT2(+)
3	豊田市	20歳	女	-/-	7/23	7/25	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
4	豊橋市	29歳	男	7/23	7/23	7/27	O157、VT2(+)
5	瀬戸	0歳	男	7/8	7/11	7/26	O157、VT1(+)
6	瀬戸	25歳	女	7/20	7/22	7/27	O157、VT1(+)
7	新城	7歳	男	7/20	7/23	7/28	O157、VT1(+) VT2(+)
8	清須	52歳	男	7/15	7/21	7/26	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

チクングニア熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	瀬戸	41歳	女	インド

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	48歳	男	デング熱	タイ、カンボディア
2	豊田市	39歳	男	デング熱	スリランカ
3	瀬戸	29歳	男	デング熱	フィリピン

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	84歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	43歳	男	腸管アメーバ症	不明	国外
2	豊田市	68歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	衣浦東部	92歳	男	院内感染	国内	無
2	衣浦東部	89歳	男	不明	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	女	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	名古屋市	47歳	女	古典型

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	51歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	名古屋市	31歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	66歳	女	不明	国内
2	名古屋市	1歳	男	有	国内
3	一宮	90歳	女	有	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	58歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	46歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	38歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	名古屋市	27歳	女	無症候	性的接触	国内
8	豊田市	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	春日井	24歳	女	早期顕症	性的接触	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋市	48歳	男	無	国内



